

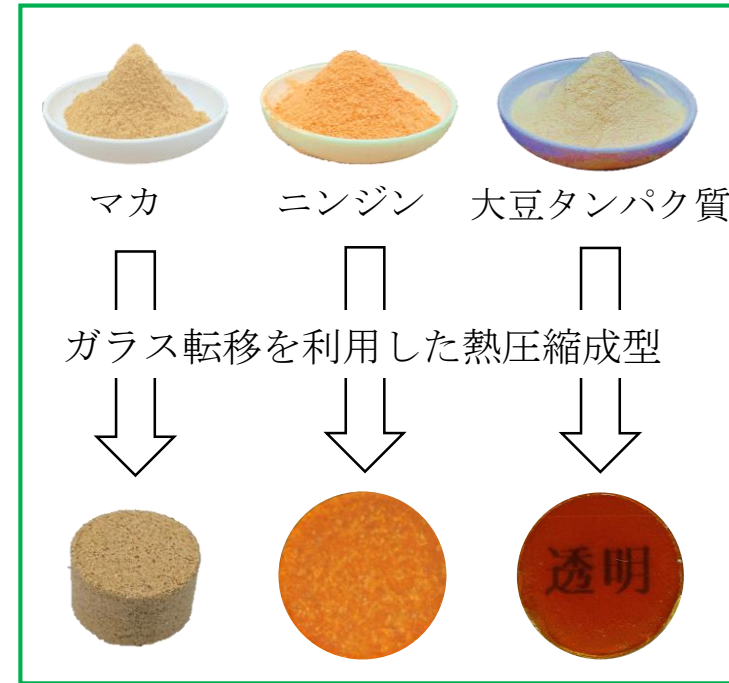
# 学位論文発表会（公聴会）

## 粉末食品のガラス-ラバー転移と 熱圧縮成型に関する研究

### Glass to rubber transition and thermal compression of food powders

粉末食品は少なくとも部分的に非晶質を含んでおり，ガラス転移温度（ $T_g$ ）を境にガラス-ラバー転移（ガラス転移）する．ガラス状態の粉末食品はサラサラと扱いやすいが，圧縮成型し難い．一方，ラバー状態の粉末食品はべたついて扱いづらいが，圧縮成型しやすいと考えられる．先行研究において，筆者らはガラス転移を利用した熱圧縮成型を考案し，粉末食品をラバー状態にして熱圧縮することで，よく固まることを実証した．この手法は殆どの粉末食品に適用可能と考えられ，様々な展開が期待される．

本研究の目的は，ガラス転移を利用した熱圧縮成型により，固まり難い粉末食品の圧縮固化，野菜の残渣など，低利用食資源粉末の有効利用，プラントベース食品の開発について検討することである．



発表者：望月 匠峰（統合生命科学研究科 食品生命科学プログラム）

日時：2026年 2月 9日（月）15:00～

場所：生物生産学部講義棟 C303

\* 本学位論文発表会は統合生命科学研究科共同セミナーの対象です。  
問い合わせ先：川井 清司 (Kiyoshi KAWAI) kawai@hiroshima-u.ac.jp